

# 空き家活用 円滑に

## 久御山町と府宅建業協会

### バンク運営協定を締結

今後増加が懸念される空き家の活用を円滑に進めていくことと、久御山町と（公）京都府宅地建造物取引業協会は7日、「久御山町空き家バンク」の運営に関する「協定」を結んだ。協定では、不動産の売買や賃貸借の仲介を軸に、空き家バンク登録物件が契約された際の報告、町の空き家バンク制度運用について、府宅建業協会が協力するとしている。また町は、4月以降ホームページを活用し、空き家バンクに登録された物件の情報提供を行う予定という。このほか特徴として、町内には製造業事業所なども多くある事から、工場もバンク登録を可能とした。町役場で開いた締結式で信貴康孝町長は、全国的に増え続ける空き家については、「久御山町では幸い低い水準だが、今後の高齢化や人口減少の影響を受け、空き家が増加する懸念もある」とした。その上で、「府宅建業協会が持つ幅広いネットワークで、町内にある空き家の掘り起こしや活用が期待され、感謝している」と話した。



協定書を交わした(左から)千振会長、信貴町長、野川支部長

府宅建業協会の千振和雄会長は「協会の社会的テーマとして、『空き家対策』と『既存建物の流通活性化』がある。今後、地域とともに良いまちを作り、協定が充実したものにしたい」とあいさつ。町内をエリアとする同協会第6支部の野川正克支部長は「家を放置する理由は色々あるだろうが、それでは財産も豊かにならない。家を巡っていき、空き家問題をの解決に協力していきたい」と力を込めた。町では今後、2月23日(金)に同協会に加盟する不動産業者を集め説明会を実施し、4月からいとしていく。【盛川振一郎】

者を集め説明会を実施し、4月からいとしていく。【盛川振一郎】

### 「工場」含めて情報提供

## 空き家バンク4月運用へ

### 久御山町 府宅建協会和協定締結

久御山町は、空き家の有効活用を図る「空き家バンク」制度を来年度から運用する。町のホームページ(H.P.)で利用希望者を紹介し、不動産業者を仲介し、特定促進や地域活性化を図る。取り扱いは物件の対価は空き住宅に加え、企業立地が盛んな地域特性を踏まえて、空き工場なども含めた。



町によると、町内で確認されている空き家は32軒(1月末現在)。軒数自体多くないが、少子高齢化の進展などで今後増加すると予想し、その予防策の一環でバンクの運用を決めた。その際、中小企業を中心

↑「城南新報」平成30年2月8日より

「京都新聞」平成30年2月 やましる版より

## かがまち とがりまち やましるクラブ

### 久御山町 空き家バンク創設 府宅建協会和協定



協定書を交わす府宅建協会の役員らと信貴町長(中央) 久御山町役場

久御山町は、町内の空き家や空き工場などの情報を集め、希望者に提供する「空き家バンク」制度を2018年度に始める。賃貸や売却を橋渡しし、有効活用を図る。4月1日から、空き家提供の希望者を町役場へ付け、バンクに登録してもらう。登録内容は、個人情報保護を伏せた上ホームページで公開する。購入や賃貸を希望する人は、町が紹介した業者と直接、交渉や契約をする。人が住んでいない空き家の活用に加え、将来、空き家になり得る住宅などの情報を掘り起こし、有効活用を促す。7日、町と、契約を仲介する府宅地建物取引業協会が空き家バンクの運営に関する協定を結んだ。協会が、空き家になり得る物件の相談支援をし、協会の協力業者が物件の売買や賃貸の仲介をする。信貴康孝町長は「不動産売買、賃貸借のノウハウや幅広いネットワークを生かし、町内の空き家の掘り起こしと有効利用のために協力していただけるのは、強い」と期待を述べた。(杉原慶子)